

天声人語

安保関連法案に反対する声が
 広がり続けている。平和主義と
 立憲主義が全国で語られた7月
 の言葉から▼「アベ政治を許さ
 ない」。各地で一斉に掲げられ
 た文字は、俳人の金子兜太さん
 (95)が書いた。首相と米国の関係を哀れ
 む。「でっち小僧が旦那になだめられた
 り引っぱたかれたり、時々菓子をもらっ
 たりして、いいようにされている姿を想
 像してしまう」▼国は全自衛官との再契
 約を。元陸上自衛隊レンジャー隊員の井
 筒高雄さん(45)の主張だ。「本土防衛を
 前提としたサービスの宣誓内容を、集团的自
 衛権の適用に沿って改訂させ、それがで
 きない隊員については、無条件で退職を
 認めることです」▼「自由と平和のため
 の京大有志の会」の声明書が共感を集め
 た。与党による言論への威圧にも憤る。
 「生きる場所と考える自由を守り、創る
 ために、／私たちはまず、思い上がった
 権力にくさびを打ちこまなくてはならな
 い」▼反戦を貫いた行動の人、鶴見俊輔
 さん。その死を、学生らの「SEALD
 S KANSAI」に属して法案に抗議
 する塩田潤さん(24)が惜しむ。「鶴見さ
 んたちの存在があるから僕たちがある。
 鶴見さんたちが作った戦後の平和と民主
 主義を受け継ぎたい」▼戦後70年の「安
 倍談話」に識者74人が共同声明で注文を
 つけた。先の戦争で日本が「過ちを犯し
 たことは深く認めるべきであります」。
 潔さこそが「国際社会において日本が
 道義的に評価され」る態度だ、と。数
 々の声に政権はどう応えるだろうか。

2015・7・31